

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	長岡介護福祉専門学校あゆみ
設置者名	社会福祉法人長岡三古老人福祉会 理事長 田中 晋

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
教育・社会福祉専門課程	介護福祉科		1,515 時間	240 時間	

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://nagaokasanko.or.jp/website/img/kaijiR08_03_01.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	長岡介護福祉専門学校あゆみ
設置者名	社会福祉法人長岡三古老人福祉会 理事長 田中 晋

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校関係者評価委員会
役割	<p>学校関係者評価委員会は、教育活動及び学校運営の状況についての自己評価の結果を踏まえ、評価を行いその結果を学校長に報告する。</p> <p>評価項目 ①教育理念・目標 ②学校運営 ③教育活動 ④学修成果 ⑤学生支援 ⑥教育環境 ⑦学生の受入募集 ⑧財務⑨法令等の遵守 ⑩社会貢献・地域貢献</p> <p>学校関係者として、福祉分野の実務に関する知見を活かして評価し、その評価結果を次年度の教育活動及び学校運営の改善の参考とする。</p> <p>評価結果の活用 委員会の評価結果を活用し、教育活動及び学校運営等の質の向上に継続的に努めなければならない。</p>

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
現市社会福祉協議会の会長	2026. 4. 1～ 2028. 3. 31	元学校長
現福祉施設の施設長	2026. 4. 1～ 2028. 3. 31	
現介護福祉士の従事者	2025. 5. 1～ 2027. 3. 31	卒業生
(備考) 委員の任期は、2年とし重任・再任を妨げない。		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	長岡介護福祉専門学校あゆみ
設置者名	社会福祉法人長岡三古老人福祉会 理事長 田中 晋

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画書(シラバス)作成手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ①厚生労働省の指針に基づき教育内容を確認(12月) ②教育課程表作成(各学年の授業配当決定)(12月) ③授業進行表作成(年間の授業配当決定)(12月) ④個別指導目標及び指導内容を具体化した授業計画作成(2月) ⑤授業形態について職員間で分担・連携の計画(3月) ⑥ファイル整理と保管(3月) ⑦授業計画書(シラバス)公表(6月) 	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>https://nagaokasanko.or.jp/website/img/kaijiR08_03_02.pdf</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期又は学年末に試験による科目の評価をする。 ・成績評価は、絶対評価とし下記の基準に基づいて科目ごとに「試験成績」「出席状況」「実習の成果」等を総合的に評価して100点満点のうち60点以上をもって履修認定とする。 <p>成績は、S(90点以上)、A(89点～80点)、B(79点～70点)、C(69点～60点)、D(59点以下)の5段階をもって表示し、Dは、履修認定しない。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客観的な指標の算出方法は、学生1人ひとりの全科目の点数を合計し、1科目の平均点(100点満点)を5段階の分布表に表し成績分布状況を把握する。 ・成績分布表を別添 	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>https://nagaokasanko.or.jp/website/img/kaijiR08_03_03.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士としての必要な知識と技術を修め、介護福祉援助者としての自己覚知を持ち、生命倫理を踏まえた行動ができる者に卒業を認定する。 <ul style="list-style-type: none"> ①科目評価 <ul style="list-style-type: none"> 全科目 100点満点中 60点以上の履修 ②出席要件 <ul style="list-style-type: none"> 講義演習科目 授業時間数の3分の2以上の出席があること。 実習科目 実習時間数の5分の4以上の出席があること。 <p>上記の要件を満たしていることを教員会議で確認し、学校長が卒業を決定し卒業証書を授与する。</p> 	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>https://nagaokasanko.or.jp/website/img/kaijiR08_01_00.pdf</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	長岡介護福祉専門学校あゆみ
設置者名	社会福祉法人長岡三古老人福祉会 理事長 田中 晋

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://nagaokasanko.or.jp/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	ホームページ公表なし
監事による監査報告（書）	https://nagaokasanko.or.jp/disclosure/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉 専門	介護福祉科	○	なし		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,485 時間	1,665 時間	240 時間	580 時間	0 時間	0 時間
			2,485 時間				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
75人		24人	0人	4人	6人	10人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画書（シラバス）作成手順 ①厚生労働省の指針に基づき教育内容を確認（12月） ②教育課程表作成（各学年の授業配当決定）（12月） ③授業進行表作成（年間の授業配当決定）（12月） ④個別指導目標及び指導内容を具体化した授業計画作成（2月） ⑤授業形態について職員間で分担・連携の計画（3月） ⑥ファイル整理と保管（3月） ⑦授業計画書（シラバス）公表（4月）
成績評価の基準・方法
（概要） ・前期又は学年末に試験による科目の評価をする。 ・成績評価は、絶対評価とし下記の基準に基づいて科目ごとに「試験成績」「出席状況」「実習の成果」等を総合的に評価して100点満点のうち60点以上をもって履修認定とする。 成績は、S(90点以上)、A(89点～80点)、B(79点～70点)、C(69点～60点)、

D(59点以下)の5段階をもって表示し、Dは、履修認定しない。
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護福祉士としての必要な知識と技術を修め、介護福祉援助者としての自己覚知を持ち、生命倫理を踏まえた行動ができる者に卒業を認定する。 <p>①科目評価 全科目 100 点満点中 60 点以上の履修</p> <p>②出席要件 講義演習科目 授業時間数の 3 分の 2 以上の出席があること。 実習科目 実習時間数の 5 分の 4 以上の出席があること。 上記の要件を満たしていることを教員会議で確認し、学校長が卒業を決定し卒業証書を授与する。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校独自の奨学金制度(法人就業5年で全額免除) 少人数の学生なので、個別の支援を実施。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10 人 (100%)	0 人 (0%)	9 人 (90%)	1 人 (10%)
(主な就職、業界等)			
・福祉施設での介護業務に従事			
(就職指導内容)			
・主に就職試験対策を中心とする指導 就職活動時のマナー 履歴書の書き方 面接試験対策等			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
・国家資格介護福祉士の取得			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
28 人	2 人	7.1%
(中途退学の主な理由)		
・進路変更 1 名、その他 1 名		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
・早期相談体制を整備し、個別支援と学習サポートを組み合わせ実施している。		

②学校単位の情報

a) 「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
介護福祉科	全額免除	600,000 円 1 学年全額免除	160,000 円	入学金(10 万円)と 1 学年の授業料(60 万円)は全員免除。 その他は実習費と諸費。
修学支援 (任意記載事項)				
・ 学校独自の奨学金制度(法人就業 5 年で全額免除)				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://nagaokasanko.or.jp/website/img/kaijiR08_03_04.pdf
第三者評価の基本方針 (実施方法・体制) 実践的な職業教育の質を確保するため、学校運営や教育活動の観察や意見交換等を通じて、自己評価の結果を評価することを目的とした学校関係者評価委員会を置く。 学校関係者として、福祉分野の関係団体の関係者及び実務者と共に、学校関係者評価委員会より福祉分野の実務に関する知見を活かし、教育目標や教育活動等について評価し、その結果を次年度の教育活動及び学校運営の改善の参考とする。
委員会構成 次に掲げる者から 3 名以上を学校長が委嘱する。 ①福祉施設の長 ②介護福祉士会の関係者 ③介護福祉士従事者 ④本校卒業生又は保護者 ⑤その他福祉分野に関する有識者
評価項目 ①教育理念・目標 ②学校運営 ③教育活動 ④学修成果 ⑤学生支援 ⑥教育環 ⑦学生の受入募集 ⑧財務 ⑨法令等の遵守 ⑩社会貢献・地域貢献
実施方法 委員会は、学校長が招集し、その運営にあたる。 委員会は、委員の過半数をもって成立する。 会議は、年 1 回 6 月に開催する。 学校長が必要と認めた場合は、委員以外の者の出席ができる。

<p>評価結果の活用</p> <p>学校長は、委員会による評価結果をまとめ報告書を作成する。</p> <p>教職員は、委員会の評価結果を活用し、教育活動及び学校運営等の質の向上に継続的に努めなければならない。</p> <p>学校長は、委員会の評価結果を公表しなければならない。</p>		
<p>第三者評価の委員</p>		
所属	任期	種別
加茂市社会福祉協議会の会長	2026. 4. 1～ 2028. 3. 31	専門分野に関する 有識者
特別養護老人ホームサクラレ福住の 施設長	2026. 4. 1～ 2028. 3. 31	福祉施設の長
グループホームけやきの介護福祉士職員	2025. 5. 1～ 2027. 3. 31	介護福祉士従事者 本校卒業生
<p>第三者評価結果の公表方法</p> <p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)</p> <p>https://nagaokasanko.or.jp/website/img/kaijiR08_03_05.pdf</p>		
<p>(備考)</p>		
<p style="background-color: #cccccc;"> </p>		

c) 当該学校に係る情報

<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)</p> <p>https://nagaokasanko.or.jp/ayumi 及び 法人発刊物「長寿」6,000部発行(法人ホームページでも公開) https://nagaokasanko.or.jp/magazine/</p>
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H115320200130
学校名 (〇〇大学 等)	長岡介護福祉専門学校あゆみ
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	社会福祉法人長岡三古老人福祉会 理事長 田中 晋

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		0人 (0) 人	0人 (0) 人	0人 (0) 人
内 訳	第Ⅰ区分	0人	0人	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅱ区分	0人	0人	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅲ区分	0人	0人	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅳ区分 (理工農)	0人	0人	
	第Ⅳ区分 (多子世帯)	0人	0人	
区分外 (多子世帯)	0人	0人		
家計急変による 支援対象者 (年間)				0人 (0) 人
合計 (年間)				0人 (0) 人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当	0人	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
GPA等が下位4分の1	0人	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	0人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。